



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社宮入バルブ製作所  
コード番号 6495 URL <http://www.miyairi-valve.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 西田憲司

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 市川 浩

TEL 03-3535-5575

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	2,384	4.2	△7	—	3	△92.6	△0	—
27年3月期第2四半期	2,288	15.0	47	—	50	—	43	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△0.01	—
27年3月期第2四半期	0.91	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	6,372	3,489	54.8
27年3月期	6,640	3,511	52.9

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 3,489百万円 27年3月期 3,511百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	1.00	1.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	5,280	7.3	70	2.1	73	6.0	55	32.0	1.15

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	48,849,935 株	27年3月期	48,849,935 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	1,047,708 株	27年3月期	1,047,708 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	47,802,227 株	27年3月期2Q	47,802,237 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境に改善の動きが見られるなど緩やかな回復基調が続いたものの、中国経済の減速や円安による輸入物価上昇は個人消費への悪影響を与えており、一部に弱さも見られ、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当第2四半期累計期間の売上高は、LPガス容器用弁は季節要因における閑散期により需要は低調であったものの、LPガス鉄鋼製装置用弁のプラント開放検査が旺盛に推移したこと、また、大手重工メーカーから特殊船用弁のリピート受注をしたこと等により、売上高は2,384百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

損益面では、売上高は堅調に推移したものの、主力製品であるLPガス容器用弁の主材料である黄銅材価格が期中では高止まりとなったこと、鉄鋼標準製品の増産が主に部材調達の制約により計画通りに進まなかったこと、国内向け製品価格の改定について、その進捗が想定より遅延していること等により、さらなる原価低減や経費節減の努力を継続しましたが、全体の収益性が悪化し営業損失7百万円(前年同期は47百万円の利益)、経常利益3百万円(前年同期比92.6%減少)、四半期純損失0(零)百万円(前年同期は43百万円の利益)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産・負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて、321百万円減少して3,018百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少142百万円および受取手形及び売掛金の減少152百万円並びに棚卸資産の減少28百万円によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて、53百万円増加して3,354百万円となりました。これは主に、有形固定資産の増加15百万円および投資その他の資産の増加40百万円によるものです。

この結果、資産合計は前事業年度末に比べて、268百万円減少して6,372百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて、104百万円減少して1,367百万円となりました。これは主に、短期借入金の減少29百万円および1年内返済予定の長期借入金の減少31百万円並びに流動負債その他(未払消費税等)の減少33百万円によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて、140百万円減少して1,516百万円となりました。これは主に、社債の減少20百万円および長期借入金の減少114百万円によるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べて、245百万円減少して2,883百万円となりました。

##### (純資産)

純資産は、前事業年度末に比べて、22百万円減少して3,489百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が22百万円減少したためです。

この結果、自己資本比率は前事業年度末の52.9%から54.8%となりました。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は、155百万円減少(前第2四半期累計期間は79百万円の減少)して410百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は134百万円(前第2四半期累計期間は104百万円)となりました。これは主に、売上債権の減少44百万円、たな卸資産の減少28百万円、割引手形の増加111百万円および未払消費税等の減少33百万円によるためです。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は86百万円(前第2四半期累計期間は55百万円の増加)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出19百万円および投資有価証券の取得による支出50百万円並びに定期預金の増加13百万円によるためです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は203百万円(前第2四半期累計期間は239百万円の減少)となりました。これは主に、短期借入れによる収入60百万円、短期借入金の返済による支出89百万円、長期借入金の返済による支出146百万円および社債の償還による支出20百万円によるためです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、平成27年5月8日発表の「平成27年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期財務諸表

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	951,449	808,837
受取手形及び売掛金	1,156,391	1,003,696
商品及び製品	813,706	739,058
仕掛品	55,449	53,442
原材料及び貯蔵品	307,391	355,908
その他	56,976	58,686
貸倒引当金	△1,515	△1,515
流動資産合計	3,339,849	3,018,113
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	116,966	126,227
構築物(純額)	35,807	34,092
機械及び装置(純額)	137,327	142,475
車両運搬具(純額)	405	731
工具、器具及び備品(純額)	6,371	9,789
土地	2,506,900	2,506,900
リース資産(純額)	2,826	2,157
建設仮勘定	2,357	2,117
有形固定資産合計	2,808,963	2,824,492
無形固定資産		
投資その他の資産	47,902	45,954
投資その他の資産		
投資有価証券	173,021	198,765
破産更生債権等	3,742,900	3,742,900
その他	274,877	289,144
貸倒引当金	△3,746,763	△3,746,763
投資その他の資産合計	444,036	484,047
固定資産合計	3,300,902	3,354,494
資産合計	6,640,751	6,372,608

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	612,432	614,274
短期借入金	199,900	170,000
1年内返済予定の長期借入金	270,560	238,870
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払法人税等	14,684	10,453
賞与引当金	43,533	43,477
その他	290,798	250,253
流動負債合計	1,471,909	1,367,330
固定負債		
社債	20,000	-
長期借入金	391,490	277,080
再評価に係る繰延税金負債	774,262	774,262
退職給付引当金	378,671	375,027
役員退職慰労引当金	51,857	53,226
その他	40,808	36,571
固定負債合計	1,657,090	1,516,167
負債合計	3,129,000	2,883,497
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,507,423	1,993,096
資本剰余金	1,549,401	-
利益剰余金	△3,063,727	△512
自己株式	△157,214	△157,214
株主資本合計	1,835,882	1,835,369
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31,620	9,492
土地再評価差額金	1,644,249	1,644,249
評価・換算差額等合計	1,675,869	1,653,741
純資産合計	3,511,751	3,489,110
負債純資産合計	6,640,751	6,372,608

## (2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	2,288,363	2,384,351
売上原価	1,901,379	2,051,993
売上総利益	386,984	332,357
販売費及び一般管理費	339,505	339,978
営業利益又は営業損失(△)	47,478	△7,620
営業外収益		
受取利息	673	103
受取配当金	1,342	1,352
不動産賃貸料	2,767	4,289
スクラップ売却益	2,226	1,066
受取和解金	600	600
損害保険金収入	8,906	17,817
その他	3,153	3,701
営業外収益合計	19,670	28,931
営業外費用		
支払利息	8,636	7,415
社債利息	380	228
手形売却損	6,480	7,112
その他	1,087	2,792
営業外費用合計	16,584	17,548
経常利益	50,564	3,762
特別損失		
固定資産除却損	17	0
特別損失合計	17	0
税引前四半期純利益	50,547	3,762
法人税、住民税及び事業税	6,960	4,275
法人税等合計	6,960	4,275
四半期純利益又は四半期純損失(△)	43,586	△512



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	50,547	3,762
減価償却費	32,235	33,593
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3,924	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,823	△56
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△46,808	△3,644
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,800	1,368
受取利息及び受取配当金	△2,015	△1,456
支払利息	9,016	7,643
受取和解金	△600	△600
固定資産除却損	17	0
売上債権の増減額(△は増加)	87,744	44,057
たな卸資産の増減額(△は増加)	△131,739	28,137
仕入債務の増減額(△は減少)	10,401	△3,247
未払消費税等の増減額(△は減少)	20,271	△33,212
割引手形の増減額(△は減少)	85,367	111,321
その他	△11,446	△40,467
小計	112,894	147,200
利息及び配当金の受取額	2,159	1,442
利息の支払額	△9,065	△7,200
和解金の受取額	600	600
法人税等の支払額	△2,139	△7,430
営業活動によるキャッシュ・フロー	104,448	134,612
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△27,761	△19,430
無形固定資産の取得による支出	-	△3,487
投資有価証券の取得による支出	△425	△50,982
定期預金の増減額(△は増加)	84,000	△13,000
その他	-	180
投資活動によるキャッシュ・フロー	55,813	△86,720
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	27,000	60,000
短期借入金の返済による支出	△93,300	△89,900
長期借入金の返済による支出	△146,500	△146,100
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
自己株式の取得による支出	△3	-
その他	△6,792	△7,504
財務活動によるキャッシュ・フロー	△239,595	△203,504
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△79,333	△155,611
現金及び現金同等物の期首残高	779,479	566,349
現金及び現金同等物の四半期末残高	700,146	410,737

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

平成27年6月26日開催の定時株主総会決議に基づき、資本金の一部、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分を実施しております。

① 資本金、資本準備金及び利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

繰越利益剰余金の欠損を解消し、財務体質の健全化及び今後の機動的かつ効率的な経営を維持するための資本政策を実現するため、並びに株主の皆様へ早期での復配を目指すことを目的としております。

② 資本金の一部、資本準備金及び利益準備金の額の減少の内容

a) 減少する資本金の一部、資本準備金及び利益準備金の額

資本金	1,514,326千円
資本準備金	1,541,410千円
利益準備金	5,000千円

b) 増加する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	3,055,737千円
繰越利益剰余金	5,000千円

③ 剰余金の処分の内容

a) 減少する剰余金の項目及びその額

その他資本剰余金	3,063,727千円
----------	-------------

b) 増加する剰余金の項目及びその額

繰越利益剰余金	3,063,727千円
---------	-------------

上記の結果、第1四半期会計期間において資本金が1,514,326千円及び資本剰余金が1,549,401千円減少し、利益剰余金が3,063,727千円増加しております。

(セグメント情報等)

当社の主たる事業は、高圧ガス用バルブおよび関連機器類の製造、販売等の単一セグメントであるため、記載を省略しております。